

1. 3 源氏物語ミュージアムの見学（国語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

実際に日本の文学と関わりのある土地や建造物を訪れて、その風土に触れ、書物や絵画、彫刻、工芸品などを間近に見るという体験を通して、日本の文学や文化に対する興味・関心を深める。

(2) 研究開発の経緯

国語科のワークショップは、愛知県西尾市の岩瀬文庫、三重県多気郡の斎宮歴史博物館と京都府宇治市源氏物語ミュージアムのローテーションにて行っている。今年度は8月22日に「丸久小山園榎島工場」、「宇治平等院」、「源氏物語ミュージアム」を見学した。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は、文学への関心や豊かな発想力・深い洞察力を促すことができる。

イ 研究の内容・方法

該当教科 SSH国語総合

対象生徒 全学年の希望者 39名

実施場所 丸久小山園榎島工場

宇治平等院

源氏物語ミュージアム

実施内容

丸久小山園榎島工場

工場・茶室見学、点茶体験。

宇治平等院

鳳凰堂、平等院ミュージアム鳳翔館などの見学。

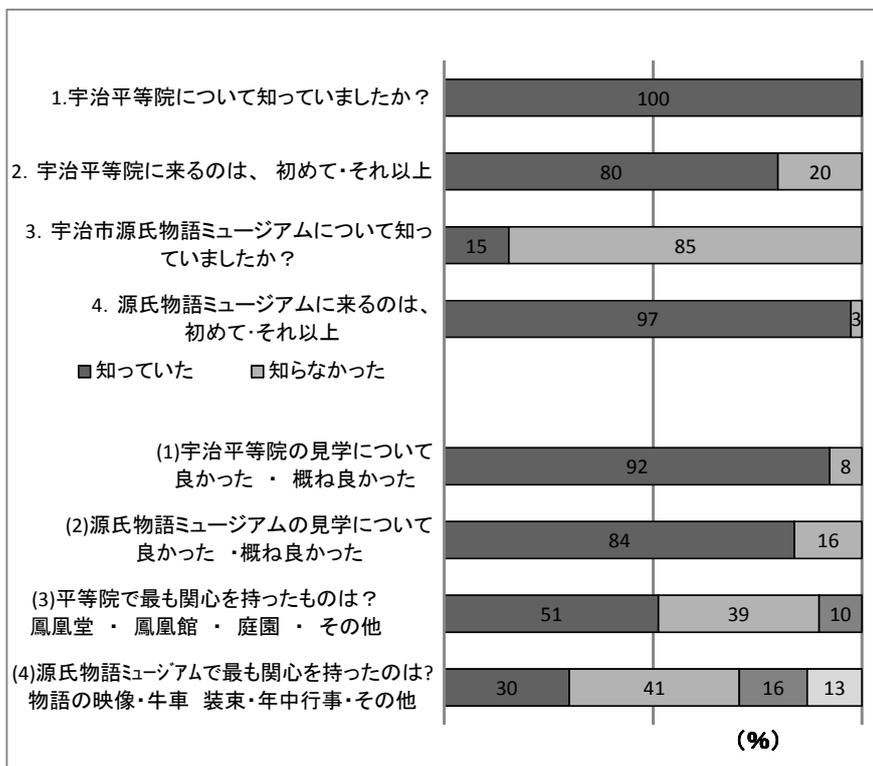
源氏物語ミュージアム

館内見学。展示物は六条院の模型、牛車、女房装束など。



源氏物語ミュージアム見学の様子

ウ 検証（成果と反省）



アンケートなどから、ほとんどの生徒にとって、日本文学や文化に対する関心を高めるとともに、今後の学習意欲向上にもつながる内容であったと言える。ただ、源氏物語についての知識が乏しい1, 2年生にはわかりにくい点もあったようだ。次年度以降はより有意義な見学ができるよう、事前指導のしかたについて検証していきたい。